

目次

第5章 市場機構

これまで消費者、生産者の行動から、需要・供給曲線を導出してきた。

今度は、これらの曲線を用いて、どのような市場が最も望ましいのか？または、どのような市場が非効率なのかを議論していく。

第3章 生産物市場

需要曲線、供給曲線を用いて、安定性や弾力性などを検討していく。

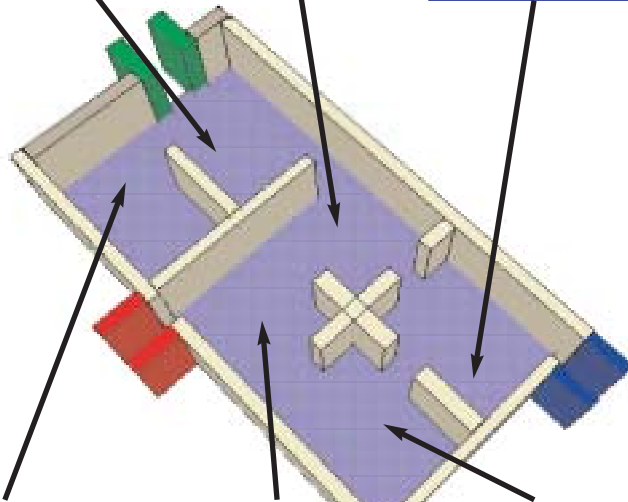
第2章 生産者の行動

企業の行動とは、企業（生産者）が生産要素市場で与えられた生産要素価格と、生産物（財・サービス）市場であたえられたその企業（生産者）が生産する生産物の価格をもとにして、利潤極大の生産量を決定することを指します。

ここでは、価格の変化を通じて供給曲線の導出していく。

試験専用の
経済学

本テキストの構成は学者になるためのものではなく、試験に出題される経済学の問題をスムーズに解決することを目的としたものである。



第6章 市場の失敗

競争市場が望ましい市場であることが判明できたが、マーケットだけにまかせておいても競争市場の実現が困難な場合がある。

このような市場の失敗が発生する場合、政府が市場に介入し適切な政策が必要になる。

第1章 消費者行動

消費者の行動とは、消費者が生産要素市場で与えられた所得をもとに、生産物市場で与えられた価格の下、効用最大化するような需要量（消費量）を決定することを指す。

ここでは、価格や所得の変化を通じて、どのように需要量を変化させるかを観察し、需要曲線を導出していく。

第4章 生産要素市場

ここでは、消費者の効用最大化による労働供給、生産者の利潤最大化による労働需要を通じて、生産要素（労働）市場のメカニズムについて考察する。